

2021年3月期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2021年5月10日

2021年3月期第4四半期（3ヶ月） サマリー

(単位：百万円)	2020/3 期	2021/3 期	前期比
売上高	15,969	16,225	+ 1.6 %
営業利益	1,526	1,481	△2.9%
営業利益率	9.6%	9.1%	
四半期純利益※	1,072	1,029	△4.0%
四半期純利益率	6.7%	6.3%	

※親会社株主に帰属する四半期純利益

総括

- ・新型コロナウイルス感染再拡大も、需要環境は前年同水準にまで回復
- ・引き続き全社的な支出抑制策、業務効率化推進により利益創出
- ・期末においてオランダ子会社（Van Leusden社）を連結
- ・期中にて海外子会社の、のれんの減損、リストラ費用を計上

2021年3月期 サマリー

業績

(単位：百万円)	2020/3 期	2021/3 期	前期比
売上高	58,722	51,805	△11.8%
営業利益	5,474	4,457	△18.6%
営業利益率	9.3%	8.6%	
当期純利益※	3,204	2,344	△26.8%
当期純利益率	5.5%	4.5%	

※親会社株主に帰属する当期純利益

総括

- ・Q2以降、需要環境は緩やかに回復
- ・社員の健康重視、リモートワークの積極活用により、業務の効率化を推進
- ・全社的な支出抑制策を実施、利益とキャッシュの創出に注力
- ・価格競争に陥らず、付加価値を訴求、シェアは拡大傾向

1

2021年3月期 決算報告

2

2022年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2017年3月期-2021年3月期）
- 事業内容について

2021年3月期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2020/3期	2021/3期	前期比
売上高	58,722	51,805	△11.8%
売上総利益 売上総利益率	21,979 37.4%	18,724 36.1%	△14.8%
営業利益 営業利益率	5,474 9.3%	4,457 8.6%	△18.6%
経常利益 経常利益率	4,991 8.5%	4,550 8.8%	△8.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益 当期純利益率	3,204 5.5%	2,344 4.5%	△26.8%
EBITDA =営業利益+償却費	8,508	7,503	△11.8%

注 為替レート (2020/3期→2021/3期) :

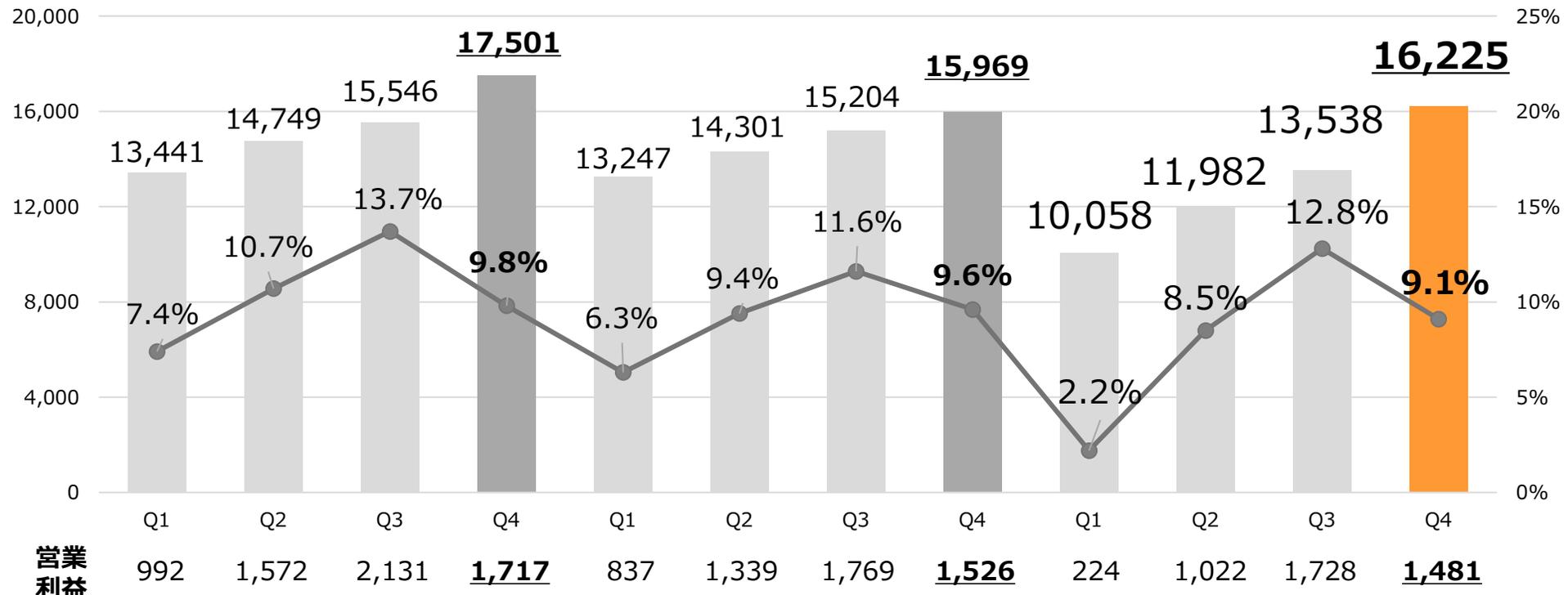
USD 108.7→106.1円 CAD 81.8→80.3円 EUR 120.8→123.7円 RMB 15.8→15.5円

売上高および営業利益率

コロナ禍の影響で経済活動は著しく低下するも、Q2以降緩やかに回復、Q4では売上、利益ともに前年同期並みへ。通期で効率化、支出抑制に注力

(単位：百万円)

■ 売上高 ● 営業利益率



営業利益	992	1,572	2,131	<u>1,717</u>	837	1,339	1,769	<u>1,526</u>	224	1,022	1,728	<u>1,481</u>
------	-----	-------	-------	--------------	-----	-------	-------	--------------	-----	-------	-------	--------------

2019/3期
 売上高 61,238
 営業利益 6,413

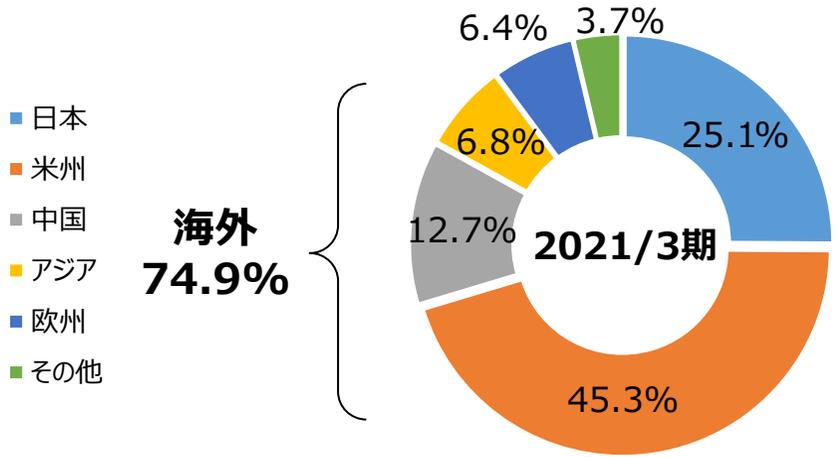
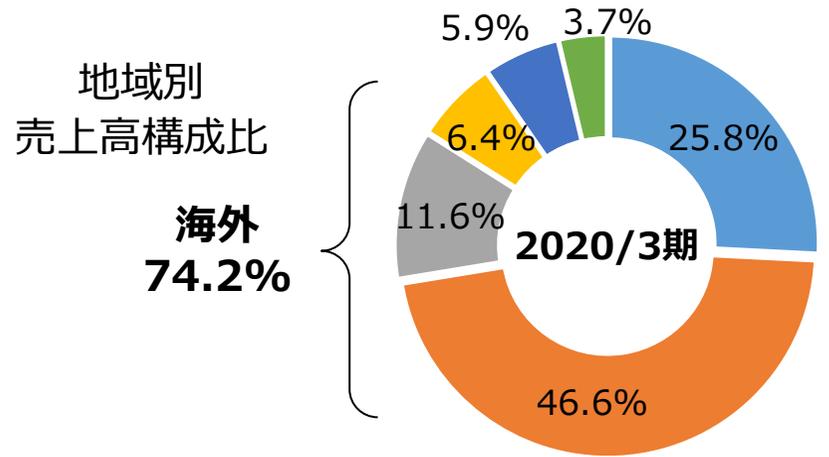
2020/3期
 売上高 58,722
 営業利益 5,474

2021/3期
 売上高 51,805
 営業利益 4,457

地域別の状況

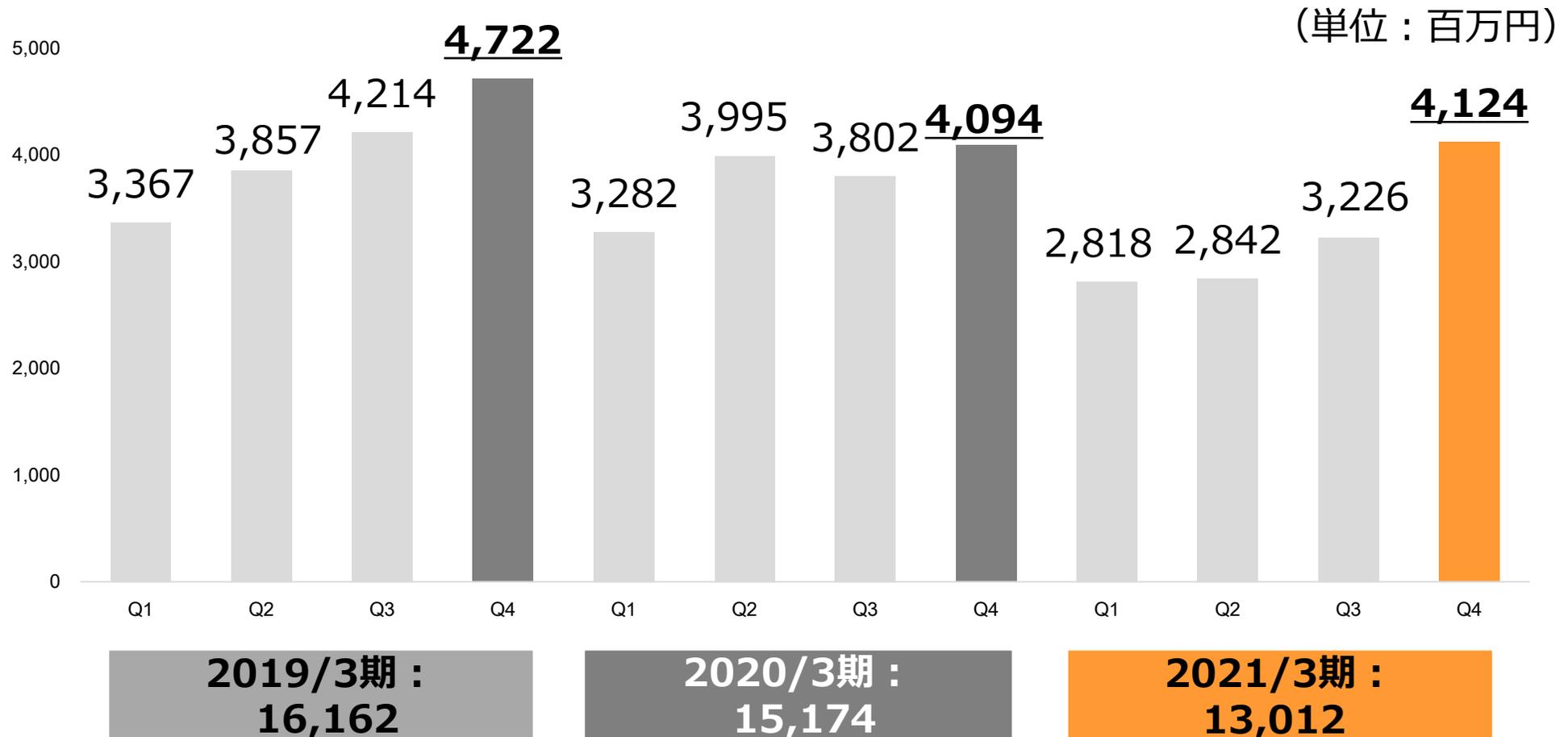
(単位：百万円)	2019/3期		2020/3期		2021/3期		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	61,238	100.0%	58,722	100.0%	51,805	100.0%	△6,917	△11.8%
日本	16,162	26.4%	15,174	25.8%	13,012	25.1%	△2,162	△14.3%
米州	27,663	45.2%	27,332	46.6%	23,409	45.3%	△3,922	△14.4%
中国	6,539	10.7%	6,822	11.6%	6,596	12.7%	△225	△3.3%
アジア	5,239	8.6%	3,729	6.4%	3,546	6.8%	△182	△4.9%
欧州	3,204	5.1%	3,467	5.9%	3,326	6.4%	△141	△4.1%
その他地域	2,430	4.0%	2,196	3.7%	1,913	3.7%	△282	△12.9%

注 為替レート (2020/3期→2021/3期) :
 USD 108.7→106.1円 CAD 81.8→80.3円 EUR 120.8→123.7円 RMB 15.8→15.5円



地域別売上高（日本）

- Q1中盤以降、緩やかな回復基調
- 大口設備投資の受注は堅調
- インフラ関連の荷動きに復調の兆し



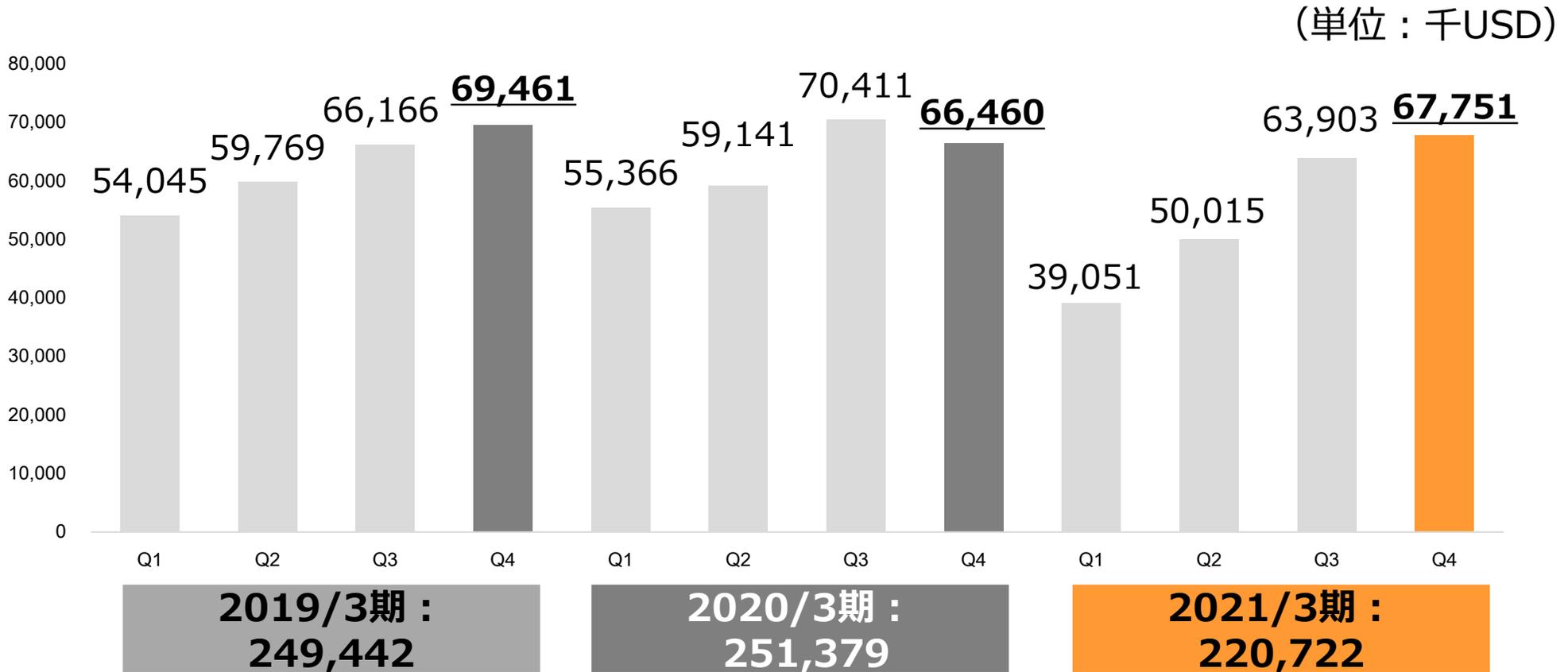
地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社のクサリ関連事業で構成

- 感染拡大が続くも、クサリ関連事業が先行して回復傾向
- Q4において回復傾向強まるも、海上輸送の障害による影響は要注視



地域別売上高（中国）

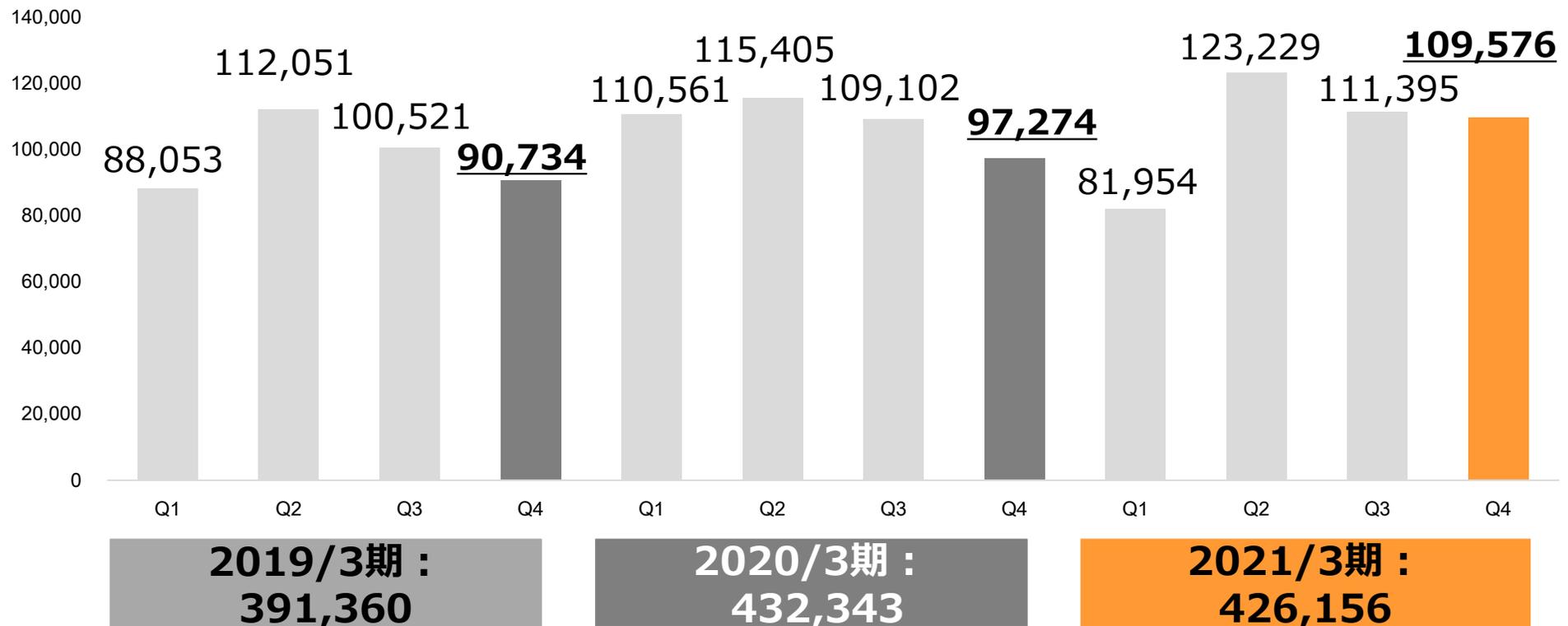
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- コロナ禍の影響を期初に大きく受けるも、世界に先駆け、需要環境は急速に回復（中国セグメントは1～12月が当決算累計期間）

（単位：千RMB）



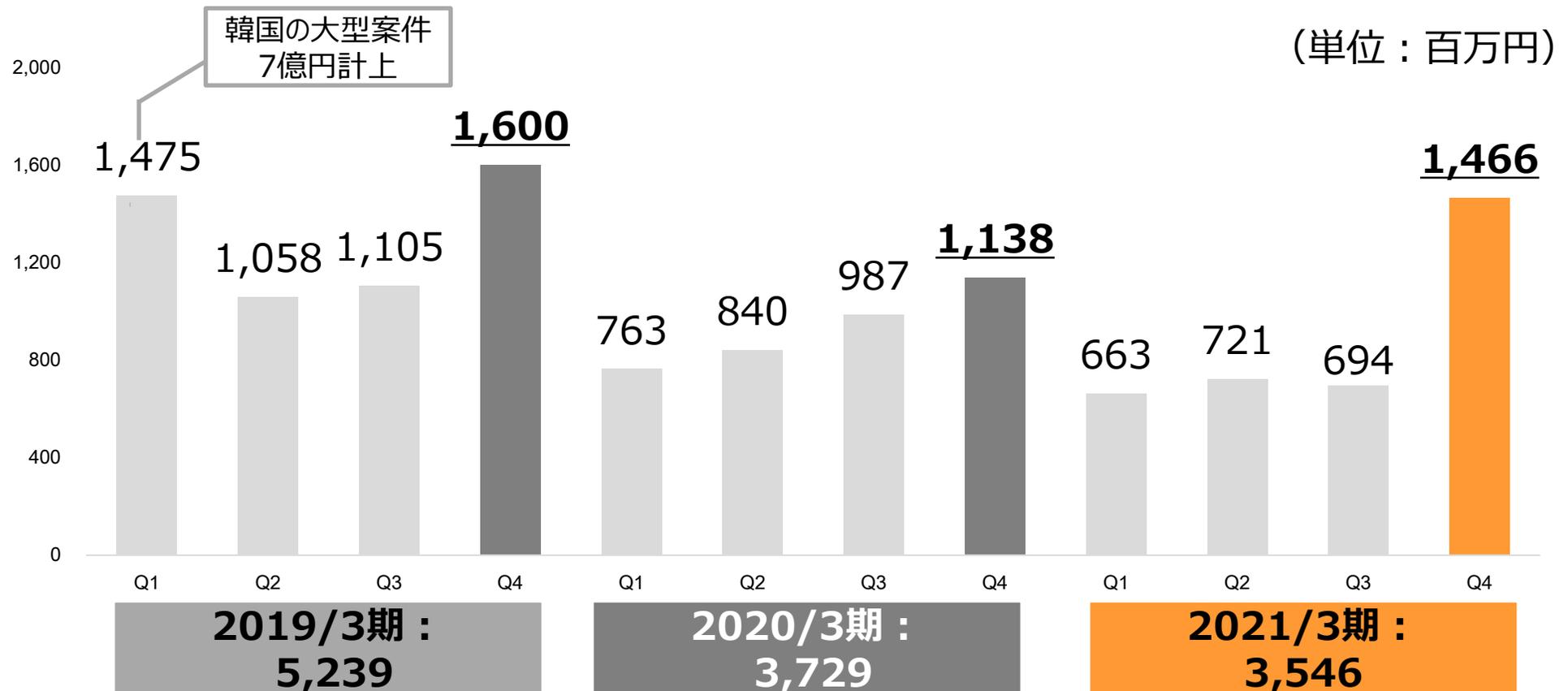
地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

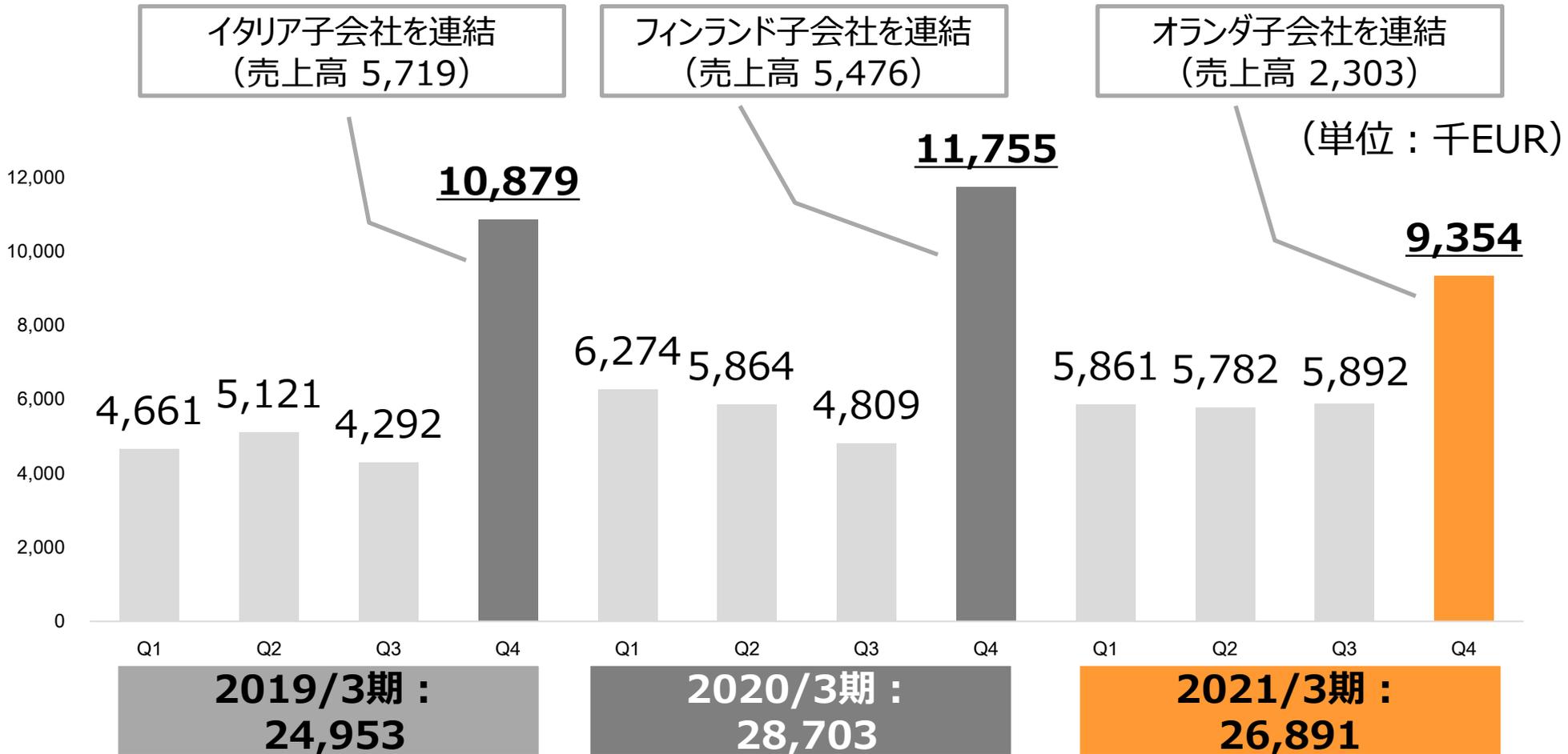
主軸のタイ、韓国でクレーン事業を手掛ける。事業構造を見直し収益性拡大を図る。

- 韓国の液晶関連受注が回復
- 東南アジアは自動車関連産業をはじめとした設備投資が引き続き低迷



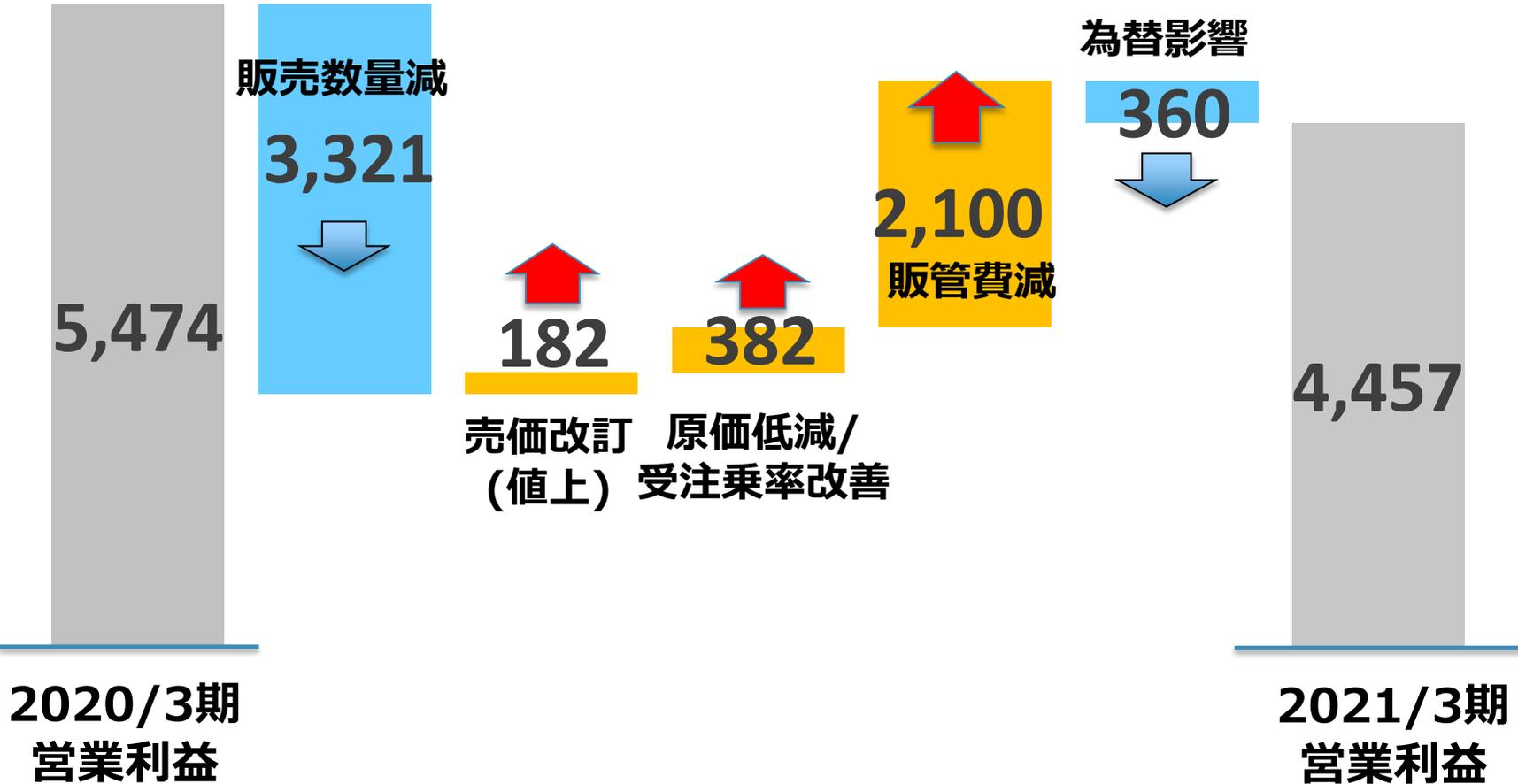
地域別売上高（欧州）

- 過年度に3子会社を連結。品揃え拡充による競合との差別化を演出
- 厳しい環境下が続くも、徐々に市場浸透が進み、底堅い受注が継続



営業利益の比較

(単位：百万円)



2021/3期 連結貸借対照表

単位：百万円	2020/3期	2021/3期	増減額
流動資産	40,046	43,735	3,688
現金及び預金	9,468	13,734	4,266
受取手形及び 売掛金	11,088	11,369	281
たな卸資産	18,097	17,341	△755
その他	1,392	1,289	△102
固定資産	22,757	21,332	△1,425
有形固定資産	12,752	12,628	△124
無形固定資産	5,319	5,003	△316
投資その他の資産	4,686	3,701	△984
資産合計	62,804	65,067	2,263

単位：百万円	2020/3期	2021/3期	増減額
流動負債	20,263	23,011	2,747
支払手形及び 買掛金	5,668	5,028	△639
短期借入金*	7,523	11,983	4,460
その他	7,070	5,998	△1,072
固定負債	14,613	11,488	△3,124
長期借入金	10,808	7,894	△2,914
その他	3,805	3,594	△210
純資産合計	27,927	30,567	2,640
負債純資産合計	62,804	65,067	2,263

* 1年内返済予定の長期借入金を含む

連結キャッシュ・フロー

単位：百万円	2020/3期	2021/3期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	5,374	6,662	1,288
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,826	△2,300	526
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,671	△82	1,588
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△86	147	234
現金及び現金同等物 の増減額	789	4,427	3,637
現金及び現金同等物 の期末残高	9,297	13,725	4,427

<2021/3期の主な内容>

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益：	3,682
減価償却費：	2,697
たな卸資産の減少：	1,225

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出：	△2,210
無形固定資産の取得による支出：	△294

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入れの純増額：	4,587
長期借入れによる収入：	1,100
長期借入金の返済による支出：	△4,385
配当金の支払額：	△737

1

2021年3月期 決算報告

2

2022年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2017年3月期-2021年3月期）
- 事業内容について

2022年3月期 業績予想

- 先行き不透明な状況下、次期の中期経営計画の公表は、1年見送る
- 好機を捉え、コロナ禍以前の業績への早期回復、需要変動に左右されない事業体質
- 市場回復に乗じたインフラ需要の取り込み等による、コロナ禍以前の業績への回帰
- 環境に配慮したサプライチェーン、安全な作業環境提供など、広く社会に貢献する

(単位 百万円)	2021/3期	2022/3期 (予想)	前期比
売上高	51,805	55,000	+6.2%
営業利益	4,457	5,000	+12.2%
営業利益率	8.6%	9.1%	
経常利益	4,550	4,800	+5.5%
経常利益率	8.8%	8.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,344	3,200	+36.5%
当期純利益率	4.5%	5.8%	
EBITDA =営業利益+償却費	7,503	7,900	+5.3%
設備投資	2,504	3,500	

注 為替レート (2021/3期→2022/3期) :

USD 106.1→105.0円 CAD 80.3→85.0円 EUR 123.7→125.0円 RMB 15.5→16.0円

日 本 売上予想 14,000百万円（前期比+7.6%）

市場環境

- 好不調業種が鮮明化
- コロナ禍の影響はあるものの停滞ムードを脱却、さらなる回復基調へ

取り組み

- 専任営業による大型物件への営業力強化
- 生産性向上のための設備投資を継続

米 州 売上予想 24,500百万円（前期比+4.7%）

市場環境

- 政権交代による環境をはじめとした諸施策の転換
- 海上輸送障害による影響を注視

取り組み

- 拡大したシェアと市場回復との相乗効果を発揮
- 海上輸送障害を加味した適正在庫の検証

中国 売上予想 6,900百万円（前期比+4.6%）

市場環境

- コロナ禍後の政府の経済対策に注視
- 環境、品質に対する意識の高まりによりシェア拡大傾向

取り組み

- 好調業種の設備投資需要を捉え、販売拡大を図る
- 価格競争に一線を画した、利益重視の販売活動

アジア 売上予想 3,700百万円（前期比+4.3%）

市場環境

- 韓国の液晶関連需要は低調傾向
- 東南アジアにおいては、自動車業界を中心に需要が低迷

取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- タイ、韓国における顧客基盤拡大を推進

欧州 売上予想 3,500百万円（前期比+5.2%）

市場環境

- 経済活動再開に伴う需要回復に期待

取り組み

- 買収子会社による相乗効果で、さらなる事業拡大

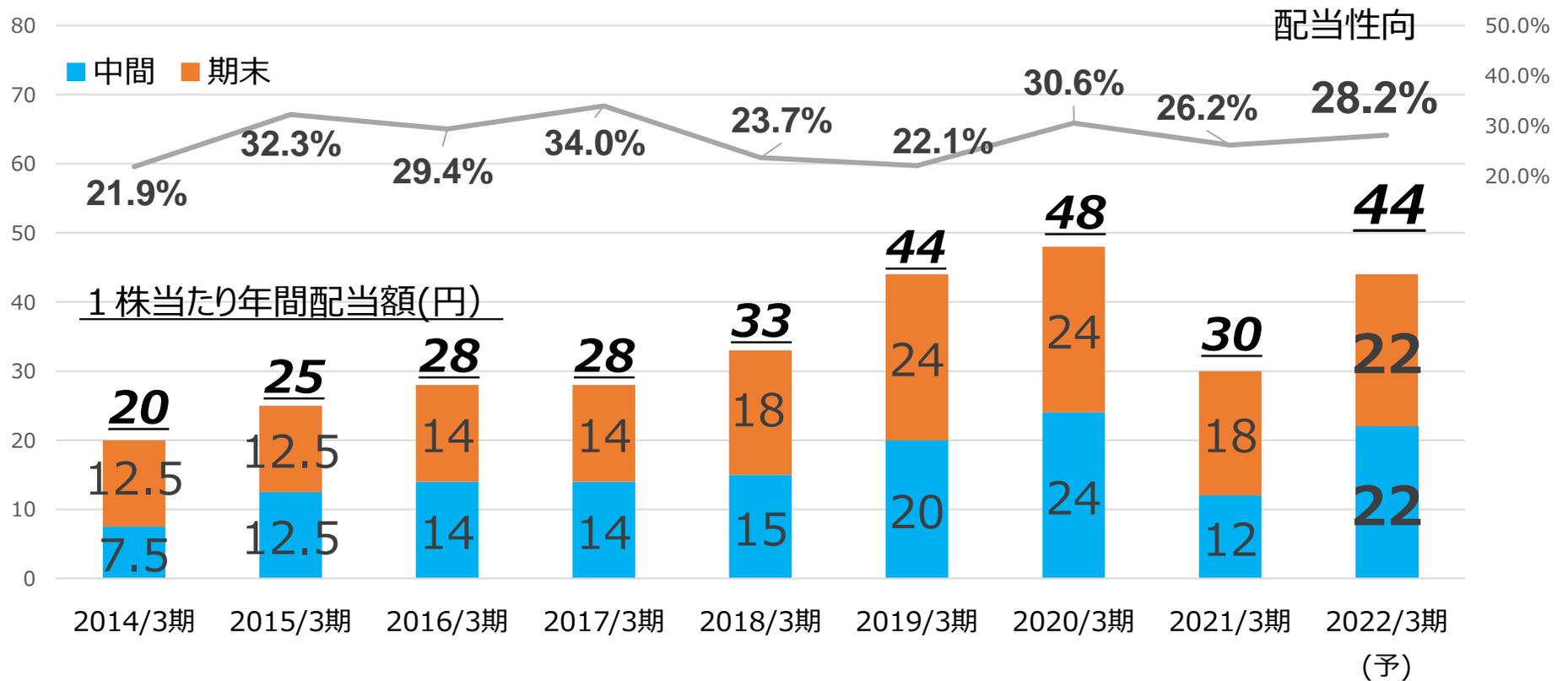
2022年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2021/3期		2022/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	51,805	100.0%	55,000	100.0%	3,195	+6.2%
日本	13,012	25.1%	14,000	25.5%	988	+7.6%
米州	23,409	45.3%	24,500	44.5%	1,091	+4.7%
中国	6,596	12.7%	6,900	12.5%	304	+4.6%
アジア	3,546	6.8%	3,700	6.7%	154	+4.3%
欧州	3,326	6.4%	3,500	6.4%	174	+5.2%
その他地域	1,913	3.7%	2,400	4.4%	487	+25.5%

注 為替レート (2021/3期→2022/3期) :

USD 106.1→105.0円 CAD 80.3→85.0円 EUR 123.7→125.0円 RMB 15.5→16.0円

株主還元方針／配当予想



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014/3期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2021年3月期 決算報告

2

2022年3月期 見通し

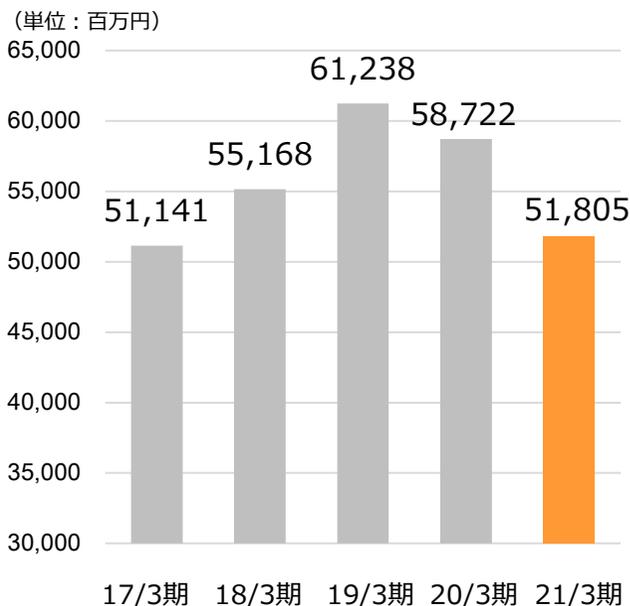
3

参考資料

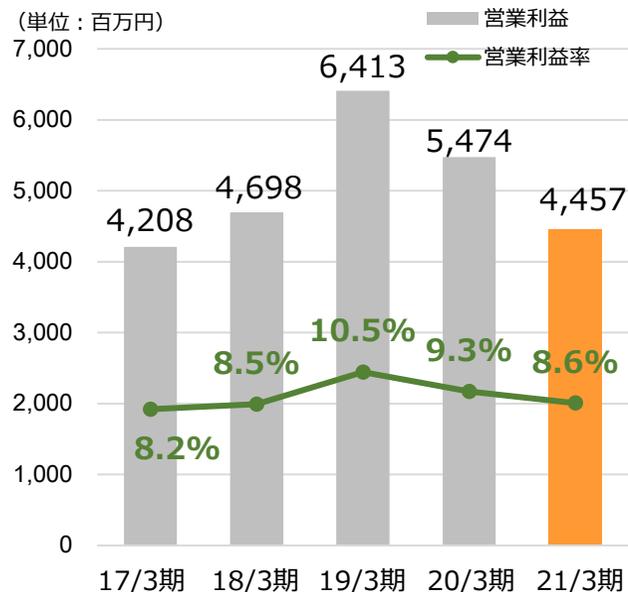
- 過去5期分の業績・財務情報（2017年3月期-2021年3月期）
- 事業内容について

業績・財務情報

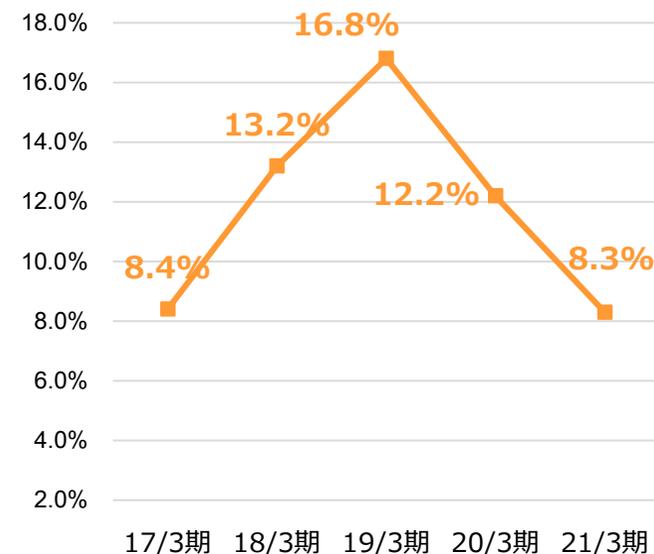
売上高



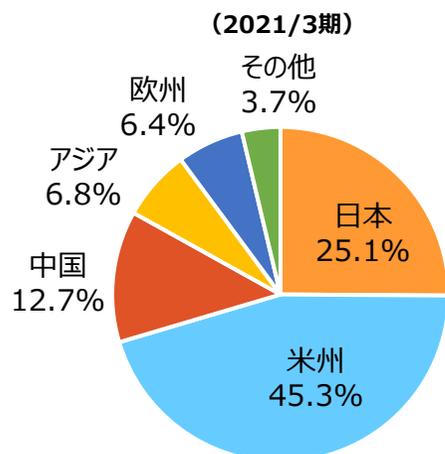
営業利益・営業利益率



ROE



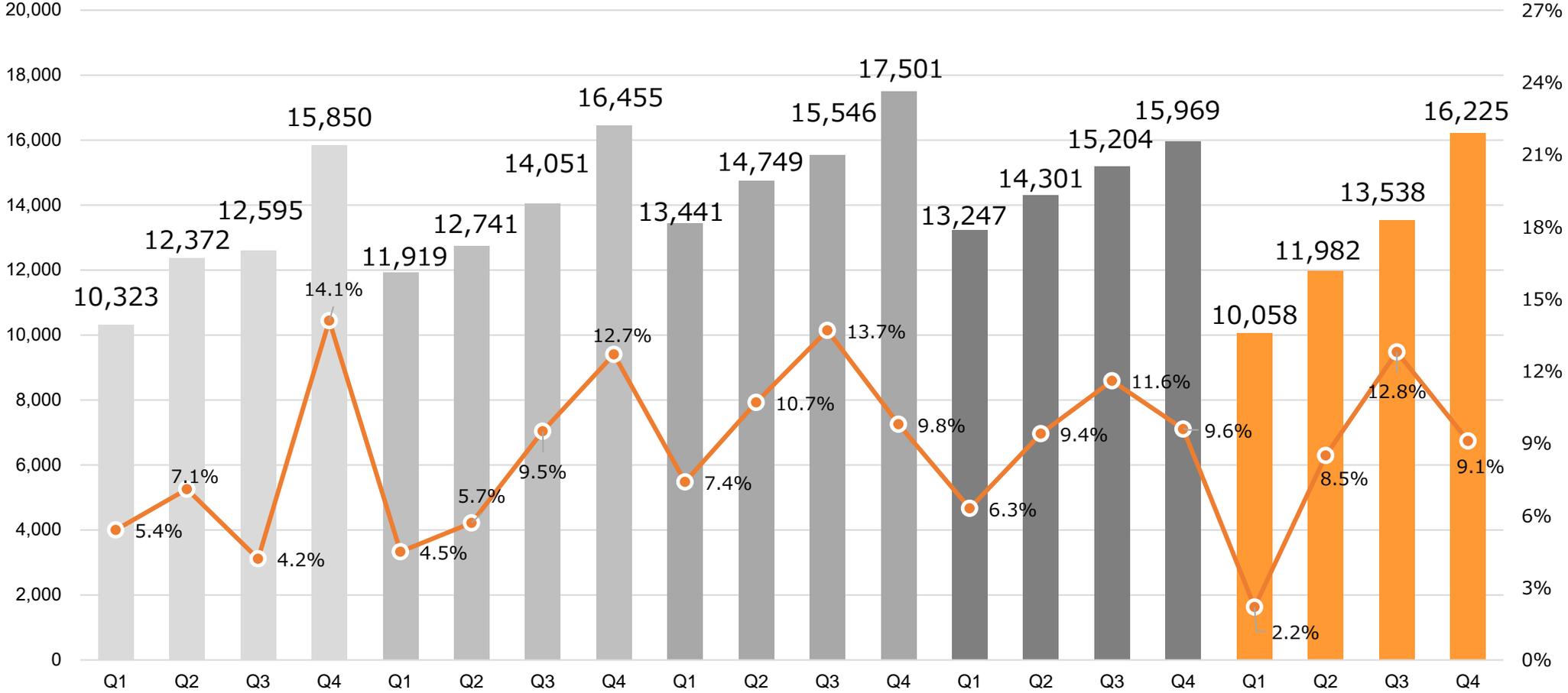
地域別売上高比率



	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期
海外比率	74.3%	76.0%	73.6%	74.2%	74.9%
為替平均レート					
USD	108.4円	110.9円	110.9円	108.7円	106.1円
CAD	82.5円	86.5円	84.6円	81.8円	80.3円
EUR	118.8円	129.7円	128.4円	120.8円	123.7円
RMB	16.4円	16.6円	16.7円	15.8円	15.5円
設備投資額(百万円)	2,393	1,411	1,416	1,689	2,504
減価償却費(百万円)	1,792	2,116	2,470	2,711	2,697

売上高 及び 営業利益率 (四半期比較)

(単位：百万円)



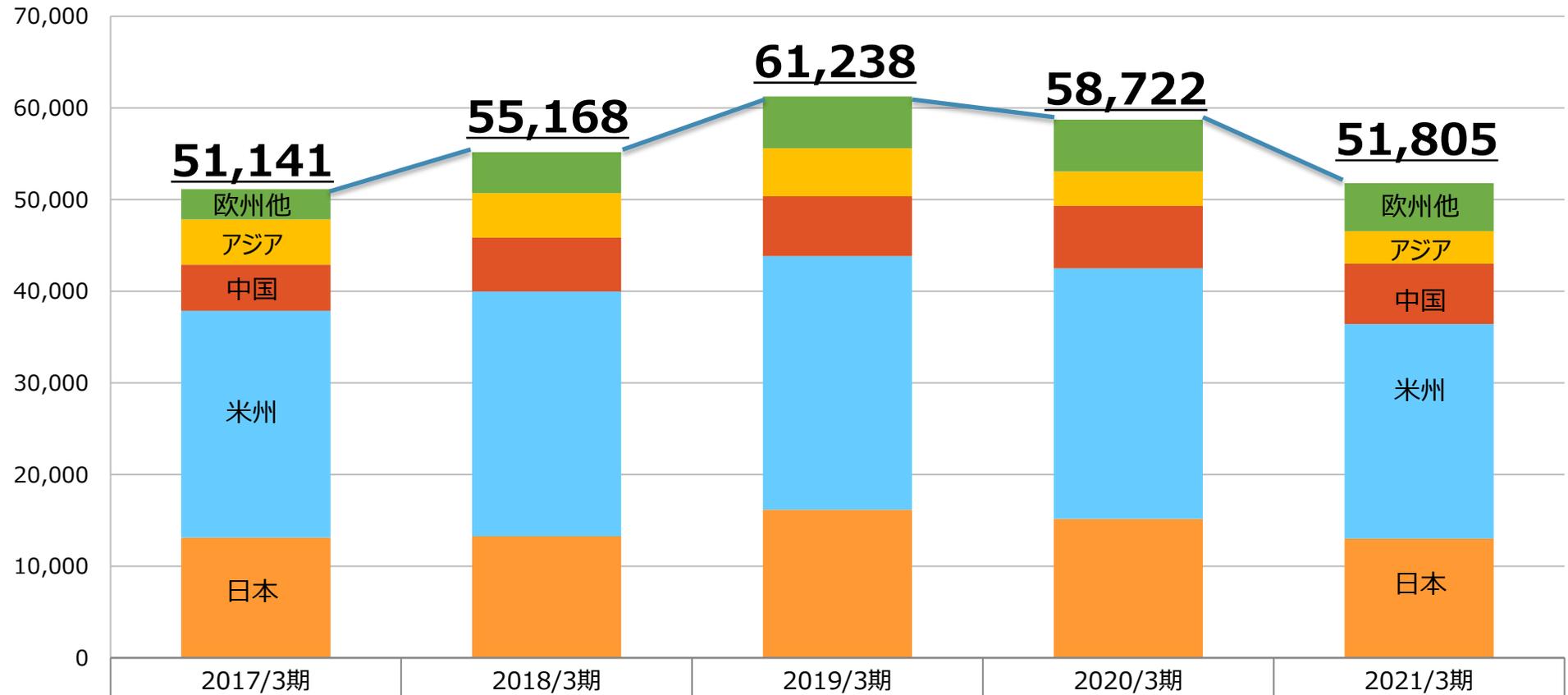
営業利益

561 876 532 2,239 538 730 1,338 2,092 992 1,572 2,131 1,717 837 1,339 1,769 1,526 224 1,022 1,728 1,481

2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期
売上高 51,141	売上高 55,168	売上高 61,238	売上高 58,722	売上高 51,805
営業利益 4,208	営業利益 4,698	営業利益 6,413	営業利益 5,474	営業利益 4,457

地域別売上高推移

(単位：百万円)



■ 欧州他	3,308	4,465	5,634	5,663	5,239
■ アジア	4,925	4,837	5,239	3,729	3,546
■ 中国	5,034	5,903	6,539	6,822	6,596
■ 米州	24,742	26,700	27,663	27,332	23,409
■ 日本	13,129	13,261	16,162	15,174	13,012

事業内容

モノを持ち上げ、運び、固定する作業に不可欠な、 マテリアルハンドリング機器の リーディングカンパニー



経済の発展段階に応じた需要

特定の業界の動向に依存せず

成熟製品でありながら成長産業

■ クレーン

ホイストとの組合せで3次元の動きを実現



■ ホイスト（巻上機）

主力はクサリ（チェーン）式（電動・手動）
ワイヤロープ式もラインナップ（電動）
（中国においてはロープ式が主力）



■ ビローフックデバイス （吊り具）

ホイストで荷物を吊り上げる際の
中間アタッチメント



■ 各種クサリ製品

運搬・移動・固定・牽引
船舶、農林業、タイヤチェーンなど



顧客ニーズの拡大



“KITO” = “信頼のブランド”

製品力

耐久性	高性能
安全性	操作性

技術力

顧客の複雑なニーズへの高い技術対応力（エンジニアリング）

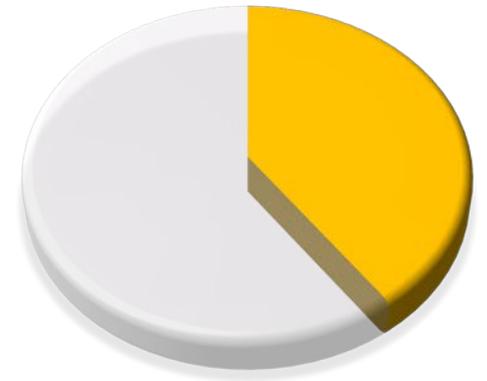
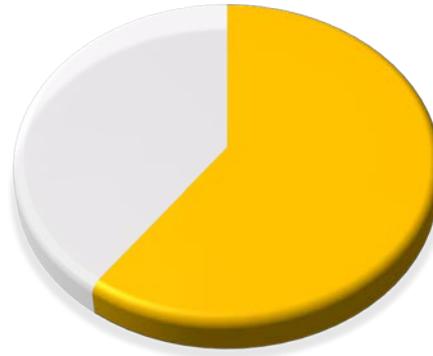
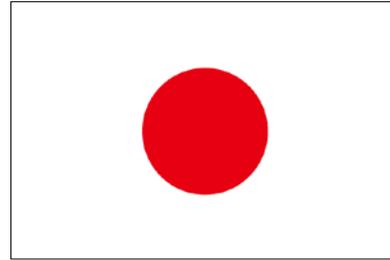
サービスネットワーク

広範なネットワークによる顧客満足度の高いサービスを実現



高付加価値製品・サービスの提供により差別化を実現
高品質市場での高い評価

信頼に基づく高いシェア



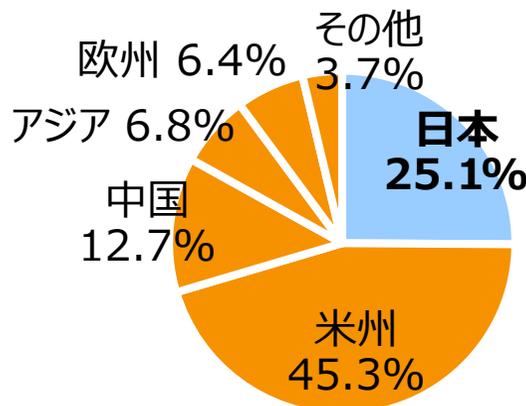
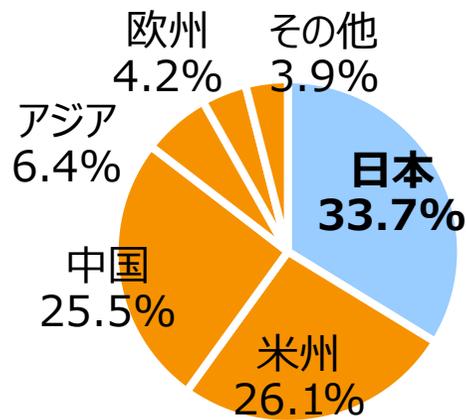
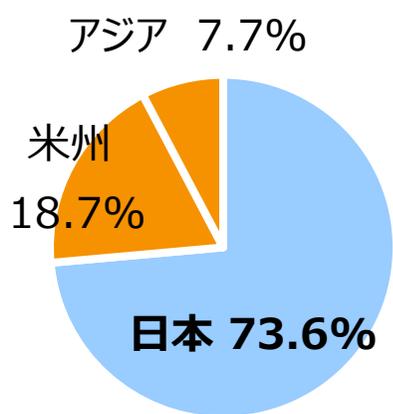
海外市場での成長

- 海外市場での成長により、地域分散の効いた事業ポートフォリオ構築
- 特定地域の需要動向に振られることなく、着実な成長を実現

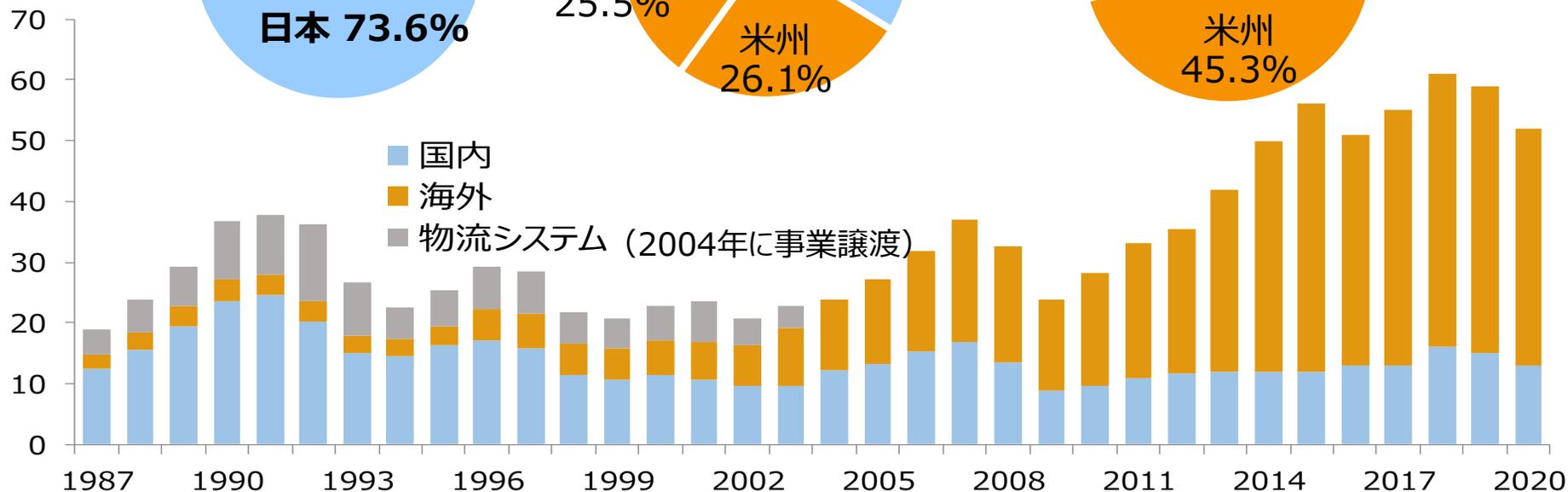
FY2000 売上高227億円
海外売上比率 26.4%

FY2010 売上高280億円
海外売上比率 66.3%

FY2020 売上高518億円
海外売上比率 74.9%



単位: 10億円



市場動向に左右されにくい顧客基盤

- 民間設備投資、公共投資を問わず、広範な顧客基盤
- 特定の業界や、市場サイクルの影響を、受けにくい事業構造

工作機械受注統計（内需） キトー国内売上推移（12ヶ月移動平均）
（2015年4-6月期を「1」とした指数変動）

